

ほけんだより

令和4年9月
アケボノ保育園

暑さもひと段落し、朝夕の風には秋の気配が感じられるようになりました。1日の中の気温差が大きくなるこの時期は、体調を崩しやすいときです。毎日の体調の変化にご注意ください。

感染症等発生状況

※ () 内は、昨年的人数

	6月	7月	8月
発熱	17(43)	19(19)	8(8)
新型コロナウイルス感染症	0	1	31
胃腸炎症状(嘔吐・下痢・腹痛)	8(9)	21(5)	8(3)
突発性発疹症	1(1)	2	1
咳(喘息を含む)	3(20)	3(8)	2
手足口病			(2)
ヘルパンギーナ			1
水痘		(1)	
とびひ			1(1)
中耳炎	2(4)	(1)	(2)
アデノウイルス	(1)		1
マイコプラズマ肺炎	(1)		
ヒトメタニューモウイルス	(1)		
じんましん	2		1
副鼻腔炎	1		

6、7月は5月下旬の新型コロナウイルス感染症の流行が終息し、発熱症状も少なかったです。胃腸炎は6月から感染の流行が続き、8月上旬に終息しました。

8月は新型コロナウイルス感染症の第7波の影響を受け、園内でも新型コロナウイルス感染症の流行が再燃しました。ワクチン接種ができない年齢である保育園児の感染拡大がニュースでも取り上げられるほど、園内の感染予防が難しい現状があります。度重なる濃厚接触者認定やそれに伴う自宅待機に不満もあるかと思いますが、感染者の回復を第一に考えていただき、思いやりの心で行動していただきますようお願いいたします。

尚、保護者への一斉メールでもお伝えしていますが、5月から濃厚接触者の特定については園で状況把握した上でリストアップする対応となっています。この濃厚接触者のリストアップは盛岡市子育てあんしん課で決められているもので、盛岡市の教育・保育施設で統一されているものとなっています。また、陽性者が特定されないようにするため、コロナ関連の報告メールは詳細がはっきりしないこともあるかと思いますが、ご了承ください。

市内では新型コロナウイルス感染症の流行に加え、手足口病とヘルパンギーナの夏風邪も流行しています。引き続き、場面に応じたマスクの着用、手洗い等の手指衛生、換気、三密回避などの基本的な感染症対策を継続しましょう。

朝ごはん
元気のスイッチを
押そう!

育ち盛りの子どもたちは、毎食しっかり食べることが大事です。活動エネルギーを補給するだけでなく、成長のためのエネルギーも必要だからです。
これからの季節は過ごしやすくなってきているので、外遊びも増えてきます。朝ごはんをしっかり食べて、元気のスイッチをONにしましょう!



とびひの増える季節です

とびひは、夏の疲れが出る8月の終わりから9月ごろに多くなります。虫刺されの跡や傷に、菌が付いて発症することが多いようです。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのがとびひの始まりのサイン。やがてかゆみの強い水ぼうがができます。これをかきこわした手でほかの所をかくと、そこにもとびひが広がります。



主な症状

- 皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

家庭での手当て

- じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってから、ガーゼで覆う
- お風呂では湯船につからず、シャワーで洗い流して清潔を保つ
- 湯上がりはこすらずふき取り、薬を塗る



患部が乾燥すれば、うつる心配はありません。じゅくじゅくしていたら、ガーゼで覆いましょう



じゅくじゅくしている部分をガーゼなどで覆うことができない場合は、登園できません。

健康の記録の書き足し ありがとうございました

第一保育期終了時にお返しした「健康の記録」にある生育歴や予防接種歴の書き足しを確認しました。

「今までに罹った病気」の欄に新型コロナウイルス感染症の記入がなかった園児に関しては、担任が記入させていただきました。(今後濃厚接触者の該当から外れることがあり、記録しておきたいため。)

発熱など風邪症状の同居家族がいる場合は、園児も自宅保育をお願いしています。

園児、及び保護者など同居している家族がPCR検査や抗原検査を受けることになった際は、速やかに園に連絡をお願いします。

